



峰延農協第67回通常総会



第67回通常総会 (JA三階大会議室 3月19日)

■発行日/平成27年4月1日/No.1356号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

J A第67回通常総会終了

決算・剩余金処分案、新年度事業計画案等を原案通り承認決定

当JAの第67回通常総会は、3月19日午後1時30分からJA三階大会議室で正組合員448人のうち、本人出席に代理出席と書面議決書提出を合わせ318人が出席して開催されました。

総会は伊藤専務理事の開会宣言で始まり、JA綱領を全員で朗唱した後、JAの事業推進に貢献のあつた前青年部長の沼田昌樹さんに対して森川組合長から感謝状と記念品が贈呈されました。森川組

峰延農協第

祝辞を述べる柿木道議会議員

合長は挨拶の中で、平成26年の事業概要と創立100年を超える原点に立ち返り結集して難局と共に乗り切りたいと述べました。来賓として出席した柿木道議会議員、関係行政を代表して美唄市の高橋市長、系統連合会を代表してJA北海道中央会岩見沢支所の石田支所長から祝辞をいただき、峰延東の望月豊氏が議長に選出され議事に入りました。

議事は、規約の一部改正、農地信託規程の一部改正、信用事業規程の一部改正、常会の運営に関する規程の一部改正、第67事業年度（平成26年度）事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剩余金処分案及び注記表の承認、第68事業年度（平成27年度）事業計画の設定、當農賦課金の賦課及び徴収方法等合計13議案について審議され、全議案が原案通り承認決定されました。最後に3月11日に開催された全道農協組合長会議での決議を受けて、①農協改革に関する決議、②TPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議の2件の特別決議が満場一致で採択され、伊藤専務理事の閉会宣言により通常総会は終了しました。

農協地区別懇談会終了

JAの地区別懇談会は、3月6日から10日の4日間、午前と午後に分けて7会場で開催を終えました。

この懇談会では、通常総会の開催に先立つて例年開催しているもので、JAの平成26年度事業の決算結果と剩余金処分案、平成27年の営農関係の取組み内容等が説明されました。

融雪作業等で忙しい中を多くの組合員の皆さまが出席し日頃から抱いているJA事業運営上の疑問や要望等多く出され盛会裡に終わりました。懇談会で出された意見、要望等は後日整理してQ&A形式にして皆さまにお届けします。

第2回（3月定例）理事会開催

3月27日開催の第2回（3月定期）理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 平成27年度の理事報酬について
2. 資金の貸付について
3. 平成27度の余裕金運用方針について
4. 建設工事規程の一部改正について
5. 持分の譲渡について

-報徳-

身に応じた暮らしをして、将来のために蓄えなさい。
それが家を永遠に保つ唯一の方法である。

翁のことばに、樹木も老木になると、枝葉も美しくなく、萎縮して衰えるものだ。このとき大いに枝葉を切りすかせば、来春は枝葉がみずみずしく、美しく出るものだ。人々の身代もこれと同じ事だ。はじめて家を興す人は、おのずから常人と違つたところがあるから、百石の身代で五十石に暮らしても人が許すだろうが、その子孫となれば、百石は百石だけ、二百石は二百石だけのことに交際をしなければ、家内の者も下男下女も他人も承知しない者だ。それで遂に不足を生ずる。不足を生じて分限を引き去ることを知らなければ、ついに滅亡する。これは自然の勢いで、のがれられぬところだ。それゆえ私は、常に推讓の道を教える。推讓の道とは、百石の身代の者が五十石で暮らしを立てて、五十石を譲ることをいう。この推讓の法は我が教える第一の法であつて、家産を維持し、かつ漸次増殖してゆく方法なのだ。家産を永遠に維持すべき道はこのほかにない。



完成したスノーメッセージ

3月5日、JAみねのぶ青年部が美唄市光珠内の国道12号沿いにスノーメッセージを制作しました。青年部員32名が午前10時に集合し国道除雪の雪山を利用してスコップなどで形を整え、カラースプレー等で「とどけ! オレの米」と書き完成させました。太田青年部長は、「全国的に米の消費量が落ち込むなか、当峰延産米の消費拡大に向けたPRになるように多くの人の目に留まつてもらいたい」と期待を述べていました。

役員	役員	役員	役員
役員	役員	役員	役員
宮田英治	石川弘樹	中村呂仁	加藤禎行

議長に今西徹さん（豊葦）が選出され、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画案が審議されました。役員改選が行われ次の通り選任されました。

3月6日、JA三階会議室で「香りの畦みちハーブ米生産部会」（荒井順一会長）の総会が開催されました。

生産部会総会開催

香りの畦みちハーブ米の農業や農協を取り巻く情勢等が伝えられました。総会終了後の懇親会では久しぶりに会う方が多く懐かしい話に盛り上がっていました。

当JAの役員OBで構成する協議会の総会が3月16日、美唄市内のゆりん館で開催されました。岩間会長以下12人の会員が出席し平成26年度の事業結果・収支予算案が原案通り決定されました。来賓に森川組合長、伊藤専務理事が招かれJAの決算内容や最近の農業や農協を取り巻く情勢等が伝えられました。総会終了後の懇親会では久しぶりに会う方が多く懐かしい話に盛り上がっていました。

峰延農協協栄会総会開催

4月から夏季営業時間に変更

当JAの営業時間が4月1日から10月31日まで夏季営業時間に変わります。

各部署の営業時間は次の通りです。これまで以上のご利用をお待ち申し上げます。

	平日（月曜～金曜）	土曜	日曜	祝日
本部事務所 (ビル2階)	午前8時30分～午後5時	午前8時30分～午後0時	休み	
営農事務所				
営農資材店舗	*精米所は毎週木曜日休み	休み		
精米所				
ATM (現金自動預払機)	午前8時30分～午後6時	午前9時～午後5時	休み	
生活店舗		午前9時30分～午後6時30分		
峰延給油所	午前7時30分～午後7時30分		午前7時30分～午後7時	

【ご留意】

- *金融窓口業務（貯金・共済・融資・出納）のうち貯金の預け入れと払戻し、共済掛金の払込、貸出金の償還等の現金を伴う業務は、平日（月曜～金曜）の午前8時30分から午後4時までです。
- *為替振込の取扱いは、平日（月曜～金曜）の午前8時30分から午後3時までです。
- *営農資材店舗は、6月から10月までは、日曜・祝日の午前中営業を検討しております、決まりましたら事前にファックス及び店内掲示等でお知らせいたします。
- *営農資材店舗は、5月末までは休まず営業いたします（5月5日を除く）。

農協内部監査士検定に合格

J A全中（全国農業協同組合中央会）が2月5日に実施した平成26年度の農業協同組合内部監査士検定の合格者が3月5日に発表になりました。全国で4645人が受験し2233人が合格、合格率は48.1%（前年17.9%）でした。当JAの合格者は次の1名です。

・安西圭史（農業経営課）

II 職員の退職 II

営農販売課に勤務の岩田佑里子（旧姓 阿蘇）さんが2月28日付で退職しました。平成12年3月に岩見沢農業高校生活科学科を卒業し同年4月に当JAに採用になり当時の営農販売部販売課に配属になりました。通産15年勤務いただき、販売事業の要として一生懸命に勤務いただきました。昨年の11月に結婚し、JAの決算業務を終えてからの退職となりました。

退職後は健康で過ごされ専業主婦としてご主人をサポートし末永いご多幸をお祈りいたします。

おくやみ申し上げます

高橋 キクさん（99歳）3月7日
岩見沢市北村中小屋4945番地

本年度の採用職員の紹介



宮本
遥人
(よこた はると)
・年齢 19歳
・出身校 JAカレッジ
(岩見沢西高校)



横田
遥人
(よこた はると)
・年齢 19歳
・年齢 19歳
・出身校 JAカレッジ
(岩見沢西高校)

○ばか苗病

近年、ばか苗病が各地区で多発しております。ばか苗病は胞子の飛散範囲が広く、発生後は抜き取り以外に防除方法がありませんので、種子消毒での防除が必要になります。薬剤処理、温湯消毒とも適正量と処理時間を守り、未然に発生を防ぎましょう。特に自家採取した種子については、感染している可能性が非常に高いので、毎年ホクレンの採取圃産種子へ必ず

・年齢 18歳
・出身校 岩見沢緑陵高校
情報コミュニケーション科

○浸種

平均水温11～12°Cとし、浸漬日数は7～9日が適しています。種子消毒も含め、容器内の温度差がないように注意します。特に浸種時に進め、早期にハウスを設置しましょう。排水溝の設置などで、圃場の乾燥を図り、置き床の環境（床の碎土ムラ、均平ムラは、イネの生育ムラの要因の一つです）を整えましょう。

1. 苗床の準備

健苗育成のためには、地温を高める対策が重要です。融雪を積極的に進め、早期にハウスを設置しましょう。排水溝の設置などで、圃場の乾燥を図り、置き床の環境（床の碎土ムラ、均平ムラは、イネの生育ムラの要因の一つです）を整えましょう。

2. 種子の準備

○種子消毒

浸漬消毒を行う場合は、薬液と糊の容量比を一対一とし、消毒液温は10～12°Cで行います。また、消毒液の廃液は適正な処理を行つて下さい。

○食酢処理

循環式催芽器で催芽時に50倍の食酢を使用することで、褐条病に対する高い防除効果が期待できまます。しかし、使用法を誤ると催芽の遅れなどの障害を招くため次の点に注意して下さい。

・循環式催芽器のみ適用
・使用する食酢は酸度4.2%の穀物酢を必ず使用（酸度が2倍の特濃酢もあるので注意する）
・業務用の食酢は食塩が含まれているので使用しない
・50倍より高濃度の食酢では発芽率が低下する（33倍液では、催芽時間が極端に延びる）
・褐条病以外の病害に対する防除効果は期待できない為、種子消毒は従来通り行う

営農技術情報

更新しましょう。

○浸種

平均水温11～12°Cとし、浸漬日

・食酢は一度使用したら廃棄する
・使用後の催芽器は必ず洗浄する
・エコホーリーD.J.は重曹を含むので浸種前（24時間前）に処理する
※食酢を使用することにより通常より催芽に時間がかかることがあります。

子消毒も含め、容器内の温度差がないように注意します。特に浸種開始から24時間の水温が10°Cを下回ると発芽率が著しく低下しますので水温には充分注意して下さい。

・エコホーリーD.J.は重曹を含むので浸種前（24時間前）に処理する
※食酢を使用することにより通常より催芽に時間がかかることがあります。

○催芽

催芽最適温度は30～32°Cで、時間は20時間前後が目安です。終了

ごとに静かに水の交換を行い、酸素を供給します。
・食酢は一度使用したら廃棄する
・使用後の催芽器は必ず洗浄する
・エコホーリーD.J.は重曹を含むので浸種前（24時間前）に処理する
※食酢を使用することにより通常より催芽に時間がかかることがあります。

3. 播種

育苗様式に合った適正な播種量を守ります。特に成苗ポット育苗では2粒以下にならないよう穴毎に確認し調整します。また、種糲の落下量は糲のぬれ具合や品種によって変化するので、作業中も時々播種粒数を確認しましょう。

・初期の育苗管理
出芽を揃えるためには、土壤水分を保ち、播種後からの温度を糲付近で30～32°Cに保つのがポイントです。種糲の7割程度が出芽したら、被覆資材は除去します。

ため灌水は控えめに行い、温度は20～25°Cを目途に管理します。灌水をする場合は晴天時の早朝に一度に十分灌水し、地温の低下を防

表1 抵抗性・耐性の発生が確認された薬剤

対象病害虫	成分名(商品名)	備考
いもち病	ジクロシメット (デラウス)	やむなく使用する際は年1回まで使用
イネドロオイムシ	イミダクロプリド (アドマイヤー) クロチアニジン (ダントツ) フィプロニル (プリンス)	プリンスについては当管内での抵抗性個体の発生は未確認

ぎます。また、1.5葉期までは夜間被覆を行い、10°C以下にならないよう保温に努めます。

5. 箱施用・灌注処理防除

近年、イネドロオイムシの抵抗性個体群の発生といもち病のMBI-D剤の耐性菌が確認されています。抵抗性が確認されている薬剤については別表を参照して下さい。(表1)また、箱施用・灌注処理どちらも薬剤投下量は必ず遵守して下さい。

表2 早期異常出穂のリスクを抑制するための成苗ポット苗移植時苗形質と育苗管理の留意点

移植時苗形質	草丈	10~13cm
	乾物重	3.0~4.5g/100本
	目標葉数	きらら397 異常出穂リスク:低 3.6~4.4葉以内 ゆめぴりか 異常出穂リスク:中 3.6~4.3葉以内 ななつぼし 異常出穂リスク:高 3.6~4.0葉以内
育苗管理の留意点	育苗温度管理	簡易有効積算温度は400°C以内 2.5葉以降は25°C以上としない
	育苗日数	30~35日

6. 本田整備

本年は雪が少なく融雪が早くなる見込です。昨年は豊作で稻わらが多く、稻わらを鋤込んだ圃場では、強力なワキの発生が懸念されますので、停滞水を速やかに排出して圃場の早期乾燥に努めて下さい。

表3 「きたほなみ」窒素分追肥の目安

時期	項目	目安			備考
起生期	m ² 茎数	800本以下	800~1,300本	1,300本以上	BB082CRを基肥に使用している場合は茎数と溶出される窒素に応じて必要量追肥する。
	窒素施肥量	8 kg/10a	8 kg/10a	4 kg/10a	
幼穗形成期 10~14日	m ² 茎数	1,500本(標準茎数)			土質、生育によって異なる
	窒素施肥量	4 kg/10a	2~4 kg/10a		

起生期…平年4月9日 幼穂形成期…平年5月4日

7. 早期異常出穂抑制対策

成苗ポットは中苗ポットに比べ早期異常出穂のリスクが高まります。播種作業は各品種の目標葉数で移植できるよう逆算して開始しましよう。

- 1. 起生期の追肥**
- 成苗ポットは中苗ポットに比べ早期異常出穂のリスクが高まります。播種作業は各品種の目標葉数で移植できるよう逆算して開始しましよう。
- 停滞水の排除に努め、少しでも茎数が施肥量を決める目安となりますので、起生期に必ず茎数を確認し、適正な追肥を行って下さい。(表3)
- 2. 眼紋病の防除**
- 連作圃場は、発生が懸念されますので、防除を実施します。防除適期は、4月下旬~5月上旬の幼穂形成期から節間伸長前期です。
- 3. 春小麦**
- 1. 春播き栽培**
- 停滞水ができるだけ早く処理しますので、防除を実施します。防除適期は、4月中旬頃までに播種を実施し、4月中下旬頃までに播種を実施します。
- 2. 初冬播き栽培**
- 「はるきらり」の播種量の目安は、12kg N / 10ルアを上限に、「春よ恋」に比べ3kg N / 10ルア程度増肥します。
- 融雪後、直ちに施肥作業を行います。窒素施肥量の目安は8kg / 10a程度です。

JA組合員のみなさまへ

農業者賠償責任保険のご案内

2013年11月版



賠償責任保険普通保険約款+事業活動特別約款（農業者賠償責任保険用）+農業者特約

農業者賠償責任保険とは・・・

農業において発生する様々な法律上の賠償責任リスク（施設リスク・生産物リスク・保管物リスク）をカバーする農業者向け専用商品です。特約（生産物品質特約）を任意に付帯することによって残留農薬に関するリスク（回収費用）もカバーできます。この保険はJAを保険契約者とし、組合員である農業者・認定農業者（個人・法人）・集落営農組織（法人）を加入者（被保険者）とする団体契約です。

○農業者賠償責任保険で保険金支払の対象となる事故例は次のとおりです。

施設リスクの事故例

- ◇薬剤散布中、隣家の畠の作物に薬剤が飛散し出荷できなくなった。
- ◇薬剤散布中、隣家の車に薬剤が付着し腐食させた。
- ◇畦（あぜ）の草刈中、小石をはねて通行人にケガをさせた。
- ◇出荷用ダンボール箱が崩れ、近くにいた隣家の子供がケガをした。
- ◇飼育中の牛が逃げ出して通行人に体当たりし、ケガを負わせた。

保管物リスクの事故例

- ◇他人から預かった農作物を納屋に保管中、泥棒に盗まれた。
- ◇借用農機具を納屋に保管中、火災で焼失した。

生産物リスクの事故例

- ◇出荷した野菜に金属片が混入していたため、サラダとして食べたお客様が口の中を切った。
- ◇直販所で販売した生産物に細菌が付着していたため、それを食べたお客様が食中毒になった。



生産物品質特約の事故例

- ◇出荷した農産物から基準値を超える残留農薬が検出され、法令等により当該農産物を回収する必要が生じた。

○補償パターンと保険料例

(保険期間1年)

農地面積	期間中支払限度額		期間中支払限度額		期間中支払限度額	
	3,000万円コース	5,000万円コース	1億円コース	基本契約のみ	基本契約+生産物品質特約	基本契約のみ
0.5ha未満	6,380円	7,380円	8,200円	9,200円	11,850円	12,850円
0.5ha以上～1ha未満	8,580円	9,580円	10,560円	11,560円	14,370円	15,370円
1ha以上～2ha未満	9,900円	10,900円	12,020円	13,020円	16,030円	17,030円
2ha以上～4ha未満	12,100円	13,450円	14,480円	15,830円	18,880円	20,230円
4ha以上～20ha未満	20,130円	22,830円	23,490円	26,190円	29,360円	32,060円
20ha以上～50ha未満	52,160円	57,560円	59,860円	65,260円	72,360円	77,760円
50ha以上～500ha未満	102,610円	108,010円	117,490円	122,890円	141,110円	146,510円

★このチラシは農業者賠償責任保険の概要を説明したものです。特約の支払限度額をはじめ、詳細につきましてはパンフレット【農業者賠償責任保険】(PE101400)をご参照ください。

★お問い合わせは・・・・

<取扱代理店>

峰延農業協同組合 金融課

住所：美唄市字峰延37番地

電話：0126-67-2113

<引受保険会社>

共栄火災海上保険株式会社 北海道支店 岩見沢営業所

住所：岩見沢市5条東5-2（佐川ビル内）

電話：0126-23-3049